

社会保障論Ⅰ	2年・前期	2単位	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリ	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32310442

1. 授業のねらい・概要

社会保障の概念および理念の発達、体系について講義する。生存権の意義、医療保障について理解できるよう、医療保険や保険診療の仕組みについて具体的に説明し、また介護保険および介護報酬制度についても理解を深め、自立支援の考え方を理解し、年齢、疾病や障害の有無、職業生活などを含め、各生活者の問題の把握と健康の保持の重要性ならびに社会福祉の理念と変遷、諸支援についても理解を深められるよう講義する。今後更に深刻化する少子・高齢化と社会保障の関係についても講義する。

2. 学修の到達目標

1. 社会保障の理念や枠組みを説明でき、生存権の意義や自立支援の考え方が理解できる。
2. 医療保障について理解し、保険診療の仕組みについて説明できる。
3. 介護保険制度について理解し、地域包括ケアについて説明できる。
4. 自立支援の考え方と具体的保障について説明できる
5. 少子高齢化と社会保障の関係について理解を深められる。

3. 授業の進め方

社会保障は、社会に伴い変化する内容を多く含んでいるので、最新の情報をもとに講義し、制度等が複雑であるので、できるだけ分かりやすく噛み砕いて説明をしながら進めていく。

4. 授業計画

1. 社会保障の世界的起源と変遷	9. 医療保険・診療報酬制度
2. わが国における社会保障制度の概念	10. 介護保険・介護報酬制度
3. 社会保障の目的、機能および体系	11. 地域包括ケア
4. 自立と連帯、福祉国家	12. 障害者（児）福祉・自立支援
5. 生存権・生活保護	13. 子育て支援
6. 社会保険と民間保険	14. 年金制度・労働保険制度
7. 社会福祉サービス	15. ワークライフ・バランス、働き方改革
8. 高齢者医療・介護	

5. 成績評価の方法・基準

小テスト 30%、期末試験 70%。

6. テキスト・参考文献

テキスト：福田素生他編 『社会保障・社会福祉』最新版 医学書院
参考文献：必要に応じて授業内に紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業内容の理解を深めるため、予習として次の単元に関するテキストを読み込んでおくことと、暗記事項に関する復習は単元ごとに行うこと。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

社会保障は、所得保障や医療や介護など、すべての人々が幸福に暮らすために社会でどのような支援を行ったらよいかという学問であり、一人の国民としても関心をもって受講して欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験内容については、提出後に解答などを提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であるので、卒業認定までに必ず必要な単位である。